中津江村報

【第43号】
発行所
編集発行人
大分・日田・中津江村
川津一人

道路ブームは私たちの上にも
2級国道も可能となる本村主要道路
大分ー久住ー小国ー鯛生ー八女線

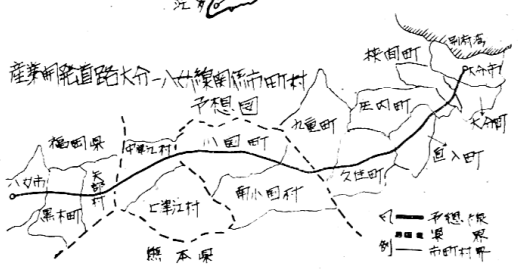
奥地等産業開発道路整備臨時措置法により延長一四〇Kmの大分ー久住ー小国ー鯛生ー八女線が改修新設されれば、本村から熊本市まで一時間半、大分市まで三時間で行け、本村にとつては主要な意味をなす。

この法は、地域差の是正を行い、奥地住民の経済を向上させようとする四四年までの時限立法である。そのために急を要し、初年度の四十年に道路整備指定を抑がねばならない

本村では、村政の主力を注ぎ陳情等、上部機関に対して積極的に働きかける一方、この線大分ー八女線の関係自治体とも協同している。そのためか全国でもこの線（大分ー八女）は主要視されている。

が、一番大切なことは、私したち村民の自覚と理解が必要である。せつかく上部機関で認められつつある時、住民の熱意がないようでは、本村のごとき全国一の森林資源も、地域性から生まれる特性も決つして生かされまい。それどころか文化経済の流れからますますとり残されるだろう。

奥地等産業開発道路整備計画図
（44年までに整備）



地域差をなくし
産業の発展を図ることが目的

▼奥地等産業開発道路整備臨時置法案　とは、国全体の経済や文化の進歩にとり残された未開発の地帯を開発し、地域格差を是正するため、来年度40年から四力年に限つて（時限立法）建設大臣が「奥地産業開発道路」を指定し、新設または改修費用の四分の三まで国が負担しようとするものである。

今後、国土縦貫道路など高速道路のかげにかくれ、開発がおくれていた、全国各地、約六十の支線道路を本格的に建設しようとするものである。

昭和三十九年五月四日、衆院本会議で可決されたこの法案は、参院も通過し、同法第三条の、奥地産業開発道路の指定が急がれている。

ようになつている。

政令で定められる
75％補助額（法のあらすじ）

▼九州では十二の道路が指定され、四十四年までに開設されることになつている。法案のあらましはつぎのとおり。

目的

地域格差の是正を行い、奥地の産業を開発し、住民経済の発展に寄与することを目的としている。

整備すべき道路の指定

建設大臣は関係行政機関の長、および関係都道府県知事の意見を聞き、奥地などにおける産業開発の統合効果を発揮するために必要と認められる道路を、奥地等産業開発道路に指定する

開発の対象

つぎにあげる地域およびこの地域と主要道路を連絡する幹線道路を開発することになつている。

①森林資源が豊富で、かつ開発のおくれている地域②酪農振興法に規定する集約酪農地域③相当規模の開適拓地④地下資源開発の効果が期待される地域⑤水産物集産地として発展が期待される地域⑥観光開発の将来性のある地域⑦将来工業発展が予想される地域。

指定地の公告

建設大臣は指定道路を政令で定めるところにより、すみやかに公告しなければならない。

道路整備計画

建設大臣は道路審議会、関係県知事の意見を聞いて計画を作成、閣議で決定があればただちに関係都道府県に通知するようになつている

国の負担率

道路の新設または改築に要する費用は、道路法の規定にかかわらず、全費用の四分の三を国が負担するよう、政令で特別に定めることができるようになつている。

道路の重要さについては、いまさら論ぜるまでもありません。

全国約60の産業開発幹線道路の予定線関係自治団体では、いま一秒をも争つて幹線道の指定を受けようと動いているのです。

当村においても、大分ー久住ー八女線の指定を受けようと、陳情のため助役の上京等、村行政の主力を注いでいます。

また一方では八女市等、関係市町村と横の連絡を密にするため、会合を開き、タイアツプして四十年に指定を受けようと働き続けたいます。

そのためか、中央機関でも大分ー久住ー矢女線を重要視しており、四十年の指定はほぼ確実となりました

総事業費五百億円

建設部会（道路調査会）の構想によると、全国約六十開発道路の総延長は、約五千Kmで、事業費総額二千億円を予定。このうち九州地区では四十年度に厳木ー背振、鹿島ー大村、田川ー日田、国東半島の一部、矢部ー久住、久住ー高千穂間の二カ所、五木ー葉、都城ー庄内、佐多ー内之浦の十カ所を着工、四カ年間には延長九百五十Km、事業費総額五百億円（十二道路）の開発道路を整備したい考えである。

先般回覧されました中津江議会議員研究視察旅行記は、村報とは違います。議会事務局で編集発行したものです。今後も、各方面から印刷物の回覧が行なわれると思いますがおとり違いのないようお知らせ致します。

出品申込みは八月十二日までに
畜産生品評会

第十四回目を迎えた畜産品評会は、本年度から農協の主催になり、農協青壮年部が中心となつて、八月十九日（午前八時～九時まで受付）農協空地で開催されます。

▽畜産品評会の主な実施要綱は次の通り▽

（出品資格）

（一）和牛の部

牛は生後六ケ月以上のもので、出品者が引き続き三ケ月以上飼育管理したもの当才ー一才未満のもの、二才ー一才以上二才未満のもの、成牛ー二才以上のもの

（二）山羊、緬羊の部

生後六ケ月以上のもので出品者が引き続き二ケ月以上飼育管理したもの。

（三）前年度までに、当畜産品評会で、一等に入賞したものは、同規格のものに出品できない。

（出品者は）

（一）出品申込書を八月十二日までに申し込むこと、

（二）出品者は村内に居住し、有畜営農者であること

（三）出品物は、本会で相当の保護をするが、事故その他の損害については責任に応じない。

（褒賞）

一等賞、二等賞、三等賞四等賞、記念品。

▽出品者は、審査を辞したり、褒賞を辞したり、再審査要求はできない。

編集室

▼毎日うだるような暑さである。東京などはひどい水不足で、都民の生活がおびやかされるほどになつてきているらしい。しかも、まだ当分雨も降りそうにないという。台風が雨を降らせるのを待つ外はないが、その台風も、秋口にならぬと関東方面に向かない公算がつよい。これも政治の貧困の現れであるとするなら、やつぱり人災といわねばなるまい。

▼それにしても、新潟の震災、山陰の大水害など、あいつぐ天災によつて、貴重な人命が失はれ、大量の物的損害が生じている。そうして、このような災害は毎年のように、程度の差こそあれ日本のどこかでおこつている。そのたびに天災だ人災だと、やかましく論議されるが、発生の回数も、被害の程度も、多くはなるとも減少の傾向はない。

▽人口の都市集中による過密地帯ほど、損害も大きく惨状もはげしい。都市へ、都市へ、と草木がなびくように人が流れていく。これも日本の産業構造、高度経済成長のもたらす、さけがたい必然であるというならば、対策をなおざりにしてきた政治の責任は、為政者にあり政治家にあるといわねばなるまい。報酬の抜きうち上値げの特技だけでは納税する国民は浮かばれない。

▽閑かさや

岩にしみいる蝉の声

縁陰にさわやかな風がそよいで、清流に汗をながすいこいのひととき。すぎさつた夕立のあとの、えもいえぬ山の冷気。

村民のみなさん。津江はほんとうによいところですぞ。勤労する意欲のあるところ、津江はいよいよ開拓され、希望への展望は明るい。大切なことは、自ら意欲し、開拓し、行動することである。清潔で健康なわれらの郷土を守り育てよう

随想
おき去られの一日

仕事を終つて何となく二三人集り、一杯やろうということが月に二、三回はある。たいていは仕事のことをグチつたり、人の悪口を言つたりで二、三杯飲んで終る。がたまに三杯が四杯になり、五杯になるともうイケナイ、話すことがだんだん大きくなつてきて、自分より強い者はいないみたいになる、当然上役はコキおろされてしまい、一同日ごろの流インを下げる、そうしているうちに勢いは良くなるばかりで、同じところじや面白くない、というので遠出となる、こういうところ飲んだやつらの常だ

車の内では「杖立だ」、「日田だ」とワメキ、あるときは杖立、あるときは日田ということになる。

ところであるとき、例によつて四、五人で杖立に行き、ある飲み屋でワアワア言つてさわいでいるうち、ねむくなつてしまつた、気がついたら朝だ、誰れもいない、他の連中は僕をおき去りにして昨夜のうちに帰つてしまつたらしい、ノソと表に出てみるとバアさんが七輪をあおいでいる。ポケツトをさぐつてみると十五円出て来た、杖立から貫見までのバス代ギリギリだ、ジエースを飲みたいと思つたがダメ、水を飲んでがまんする。とにかく貫見まで行こうと思いバスに乗つた、貫見で鯛生行きのバスを見たが知つた人が一人も乗つていない、やむなく下りのバスを待つ、これにはもうヤケ気味で知人がいるかどうかもたしかめないで乗つた、幸い友人のG君が乗つていた、彼に今までのことを話し、今日一日よろしくタノム、というと、自分の言う通りにするなら金を出してやろうという、これを無条件で受けいれた。

さて日田について先ず腹ごしらへ、ということになつたが待合室にすごい美人がいる、これに見とれて立ちさりかねていると、G君が「どうした早く行こう」という、「あれを見てくれあんな美しいのがいるのにそうあつさり行くことができるかいな」と言つたがG君の「メシがいいか、女を見ているがいつか」のオドシに屈して食堂に行く、午前中は彼の尻にくつついてあちらにうろうろこちらにうろうろと全くダラシのないことだ、こちらは目的はないから女の子の顔ばかり見ている、一々あいづするのでG君がうるさがるが仕方がない。こうして昼食も終り、映画も無理を言つて見せてもらつた、行動の決定板はG君ににぎられつぱなしだつたが、けつこう面白い日曜の日だつた。（Y）

鯛生線下り最終のバスが日田待合所前に停車した時の出来事である。前から二番目の座席にかけていた一婦人が、床の上にハンカチを落しておりて行つた。すぐ後の座席に腰掛けていた一老人は、そのハンカチを丁寧に拾い上げ、その婦人の後を追い声をかけて、ハンカチを手渡した。婦人はハンカチを受取り、老人とは別の方向に去つて行つた

この二人は他人らしかつた

私は最後に車をおりたがこの老人の行為に心を打たれた。

この老人が乗り合せていなかつたら、一枚のハンカチはどうなつていただろう

〃一枚のハンカチ〃
ささやかな行為の中に

か。踏みにじられ、チリ箱に捨てられていたかも知れない、一枚のハンカチは安価な品であり、老人の行為は実にささやかなものである。しかし、この事の中にわれわれの反省せねばならない、大きな教訓が含まれているように思われる。

「豊富の中の貧困」という現代語があるが、これは華やかな繁栄のかげに、貧困生活を余儀なくされる人々のあることを暗示した言葉であり、消費ブームに浮かれ、物質主義に陥つた現代人に対し、精神の空白を指摘した言葉と思う。

第三次池田内閣の基本課題は、経済のヒズミを是正し、「豊富の中の貧困」を解済することである。一枚のハンカチを拾い上げた老人の善意と愛情とを、政治の中に生かしてもらいたい

一枚のハンカチのごとくに、粗末に扱われ勝ちな貧しい人々のために。

（社会教育係麻生）

議員研修旅行に一言

前議長　川良美郁

村議会議員のかたがたが五月十四から二十日まで、視察研修旅行をされ、その旅行記が回覧されました。

議員各位が多忙をもかえりみず、先進地視察旅行を行い、自治体発展に寄興下さることを心から感謝いたします。

この旅行記の「結論として」の中に、「今まで何回となく視察旅行をされた先輩議員さん方には、誠にお気毒で、以前の旅行に比べて、天地の真違で（略）」との記事がありますが、私しは現職議員各位に対する配慮である、とは推察いたしましたが、いささか一般村民の誤解を招く恐れがあるやも計られずと考えたしだいです。なぜかならば一般村民は良く御承知とは存じますが、地方自治体は村長以下、全職員村議会議員にいたるまで、おのおの首長が各方面自治体の状況を勘案され、各自の自治体に応じた旅費規定支給条例案を提案し、これを議会に附議し、審議決定した後、公布施行するのです。

この規定により予算の範囲内で、必要に応じ各立場で出張命令認可を受けて、事務や視察、研修のために旅行されるのです。したがつて予算の範囲内では有効に使用し、ある時は高く、ある時は底く、自己の判断で宿賃、その他を費やすことは自由であり、不足を生じた時は自己負担となり、また残金が出た時はポケットマネーとしても、なんら違法ではありますまい。

旅費規定はおのおの職によつて規定され、超過は許されません、しかし打切経費の場合もあります。すべて公金は予算額により、執行部監督のもとに運営されて最少の経費で最大の成果を納めるのが、最良の自治運営です。

今回の視察旅行がたいへん成果をもたらしたことは村民にとり、福音であると信じます。

私したち前期の議員も、御説の通り、数回各地に研修視察旅行を行いました。ただし単なる慰案旅行のごときものでなく、その結果が村当局の全力とタイアップし、村政に反映され、またはダム対策委員会として研究し、中津江村公共補償要求ならびに、一般水没者個人補償基準となり一部進捗過程の原動力となつていると、確心しています。

過去においての視察が、公費を費し、無駄でなかつたことも、否定されますまい。

幸い賢明な議員各位が選出されておりますので、水没前後における村民将来のために、格段の努力を願い成果を期して下さるよう念願し、前議員が、いかにも規定外の多額の費用を浪費したかの感を与え、村民各位に誤解を招く恐れあるを優慮して、この稿を閉じます。

前議員　川良美郁

非行少年の早期発見で犯罪の未前防止

青少年問題協議会が発足

健全な青少年育成のために

青少年の犯罪は、日に日に増大して、犯罪の内容は凶悪かつ集団化して、その数も増加の一途をたどつています

都市では青少年の非行防止対策は、数年前から検討され続けてきました。そして雑誌、真夜喫茶等、その中のいくつかは、青少年の非行防止の方向へとたどつてきています。

しかし非行青少年の数は決して減少はしていませんそれどころか、いまや青少年の不良化は、社会的な問題にまでふくらんでいます

当村に於いての青少年犯罪は、都市のそれと比較すれば小さなのですが本村の青少の年不良化を、未然に防せごうと「青少年問題協議「会が発足しました

この会は、青少年の指導育成、保護およびきよう正に関する総合的な施策を樹立するために、青少年の調査を行い審議したり、適切な措置を構ずるために、各関係者の連絡を強調しようとするものである。

この協議会の初会は、去る七月三十一日に開催され次のような事項を決議。

（主な内容）村内青少年の動向を調査し、非行化のある青少年の早期発見をして家庭、学校その他補導機関を通じて、未前に犯罪を防止し、非行青少年の保護等地域住民の理解と協力によつて、建全な青少年を育成強化に万全を期することを議決して、閉会した

なお本協議会の会長は当村長児塔務となつた。

全国民いつせいにもくとう

終戦記念日の八月十五日に毎年国の行事として、天皇皇后両陛下御臨席のもとに「全国戦没者追悼式」が挙行されます。当日の正午は一分間全国の国民が黙とうを捧げることになつています。

官公庁においては半旗を掲げますが、一般の事業所も御協力をお願いし、サイレン等のある事業所は、正午に一分間吹鳴して下さい

また寺院は鐘をうち、戦没された幾百万の英霊の御冥福をお祈り下さい。

夏の防犯運動みんなの力で事件事故のない様に

夏は暑さのため、いろいろの犯罪や事故が多発します。警察では皆さんといつしよに、防犯運動をすすめることにしています。

つきましては、最近の犯罪や、事故のあらましをお知らせして、防犯や事故の防止に役立てて下さい。

一、県下のあちこちで、自働車や単車の盗難事件が続発しております。施従のある車庫や、家の中に保管して、ゆめゆめ道路等に放置しないこと。

二、少年のわるい行が夏休みに目立つてきます。

本村でも青少年問題協議会が発足し、補導体制が確立され、大事に於る前の防止や、芽ばえを摘みとるように務めています学校警察、家庭が一体となつて、非行防止、補導にあたりましよう。

三、暑さにうだるような夜は、戸編りを怠りがちですドロボウは皆さん方にも、警察にも困りもんです。また学校や役所、会社荒しが夏期には多発します。日宿直にあたる方は、戸編りはもちろん仕事終了後の始末や、室内外の見まわりに充分気を配つて下さい。

四、押売り、物貰いには特に気をつけて、口車にのらないよう、押売りはすぐ警察に連絡して下さい

五、夜間に起つた事件は、酒が原因になつている場合が多いようです。酒の上での口論が、暴行、傷害、殺人事件となる例は決して少くありません。めいわく行為や、暴力等がありましたら、警察に連絡して下さい

合瀬、栃野駐在所

人工呼吸の仕方などを研修

鯛生婦人学級

婦人会鯛生支部では、本年も麻生先生の指導によつて、婦人学級を毎月一回開いています。

学級生は最初に申し込書を出された希望者で、一年間勉強しようとする人達ちです。（本年は六十人）

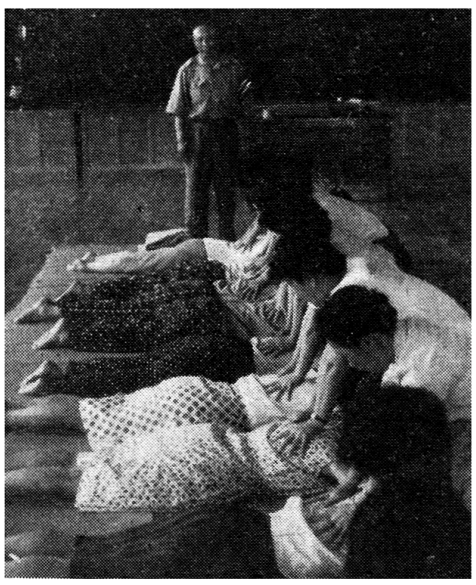
七月の学級では「警察から見た青少年」について研究し、講師は駐在所の山中氏と大城氏お二人でした。

二人ともたいへん話し上手で、解り易く、おもしろい中に母親として、子供達の日常の生活態度に対する変化の見方や、注意すべき所等、大変参考になるお話しで、みんな非常に感銘しました。

この後、溺れた人の救助法、人工呼吸の仕方などお二人で実演して下さり、私たちも二人一組でやつて見ました。思つていたより容易で、だれでもできることでした。これから暑くなり、万一の場合は実際に役立つことで、大変勉強になりました。

遠くから講師を御願いしなくても、地元にこんなに熱心御協力下さる方があつたことは、私共に取りまして、何よりも嬉ばしい力強いことで、誠に感謝しております。また他の三地区の学級にも御指導下さつたとのうことです。

ここに、御二人に感謝の意を表したいと思います。



短伐期林業への近道（その七）

中津江村森林組合

これまで短伐期林業を推し進めるうえでの、いくつかの手段について述べてきたが、そのいずれもが多くの問題点をかかえており、将来に大きな希望はもてるにしても、いますぐ伐期を半分にも短縮できるようなものでないことが解つた。

しかし、ここに残された問題がある。それは山林経営の一番もとになる育林技術が一番おろそかにされていたのではないかということである。

いくら肥料を施しても、根がそれを吸収できる状態になければ、効果はないだろう。またどんな素性のよい木でも、植え方が悪かつたり、その後の手入れが悪くては、本来の生長は望めない。林地施肥、品種改良も、それを生かす育林技術があつてこそ、はじめてその目的を達する事ができ、クワで山地に穴を掘つて、それに苗木を植えるのが造林であるというような考えでは、林地施肥も短伐期林業もないものである。

この意味から、育林技術の向上が望まれる。

（一）育　苗

植えてから二年たつても三年たつても、すこしも伸びない苗木がある。土地が悪いのだろう。風当りが強いのだろうと片ずけられることが多い。掘り起こして根を調べてみると、根がだんごのように固まつて、そのために土壌の細い粒子が根の中心部に入つていくことが出来ず、水分も不足がちである。こういう例はヒノキに特に多い。

ヒノキはスギやマツに比べて根が堅く、側根の数が多いので、床替えを繰り返すほど、根はだんご状になりやすい。根が壌土と接解しにくいのは、植え方にもよるが、苗木の育て方にも問題がある。側根が多い苗木が良い苗木とされているが、側根が多くありさえすれば良いというものではなく、要は植えてからすぐ水分や養分を吸収できるような根でなければならない。そのためには、根ごしらえをし、古い根を取り除いてやることが必要な場合さえある。また白根が多いほど良い苗木だとして、根切りや仮植えをし、白根を出させてから山出ししている。苗木の健康度を確かめるモノサシとしてなら、それでもよいが、白根がそのまま活動出来ることは少ない。多くは一度枯れ、新しく生まれ出た白根が、水分や養分を吸うようになる。

植えてからすぐ役立つ根の状態にするためには、少なくとも植える二ケ月前に、白根を出させておく必要がある。

それでは良い苗木とは、どういう苗木かというと、素性の正しいものでなければならないことはいうまでもない。だが形の良いものだけにとらわれてはいけない。品評会では優等賞をもらつたが、山に植えたら枯れてしまつた。という笑い話しもある。山に植えてすぐ役に立つ根の状態にするためには、形のよい苗木を作ることの外に、床替えの方法、施肥の時期、掘り取り、仮植えの仕方や日数、荷づくり、運搬の方法などをよく研究し、根づきをよくし、植え付け当年からぐんぐん生長を始めるようくふうしなければならない。苗木は山に植えてから根づくことはもちろん、植え付け当年から、生長を始めるのが本来の姿である。

一～二割の枯れ損は普通のことと考えているが、補植に要する苗木代はともかく、枯れ損が出来るということは、生き残つた苗木も良い状態には植えられていないということで、その悪影響の方が大きい。

（以下次号に続く）

お知らせ

青年団宿泊講習会

八月二十二日～二十四日までの三日間、中津江中学校において、日田郡内全青年団の合同宿泊講習会が開かれます。多数参加下さいますよう、お願いします。

児童相談室が開設

日田福祉事務所では、家庭児童相談室を開設いたしました。児意憲章が制定されてから、あるていどは、児童憲章の精神はくみとられましたが、その反面いろんな社会環境から、児童の非行化は少くありません。

家庭児童相談室では、いろいろの角度から原因を追究し、みなさんのよい相談相手となるものです。

家庭裁判所の無料相談

日田家庭裁判所では、調停委員会の婦人部二名を、毎月第一月曜日に鯛生田島マサ（調停委員）宅に派遣し、無料相談日を設けています。

家庭内の色々の問題で困つている方等、（秘密は厳守）気軽るに相談下さい。

調停委員　田島マサ

個人事業税の納期

八月三十一日は、個人事業税（第一期）の納期限です。地方税は、道路の設備や学校施設の整備拡充等、県民福祉増進に使用されています。趣旨を理解され、期限内納付の「自主納税」に協力して下さい。

特殊な事情で期限内納付できない方、又、課税について疑義のある方は、納期限前に当県税事務所に相談して下さい。

〔一〕納付場所

県内各郵便局、大分銀行各支店、農和相互銀行日田又は天ケ瀬支店、当事務所

〔二〕県税事務所では、次のとおり毎月納税相談所を開設しています。（開設日が土、日曜の時は月曜日にまた祭日の時は翌日）

天ケ瀬→豊和相互銀行。

25日10時～16時迄

玖珠町→農林事務所

20日10～16時迄

宝泉寺→山ノ湯旅館

28日10時～15時迄

筋　湯→筑後屋旅館26日牧の戸→九重観光ホテル26日